

# 令和5年度事業報告

## 事業概要

令和5年度は、公益社団法人11年目にあたり「会員の確保増強」等の懸案事項は元より、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った適正な就業を確保・実施するため、労働者派遣事業や職業紹介事業にも力を入れ基盤拡大確保に努めて来た。

会員獲得に向けて、会員による口コミ、会員・仕事募集チラシの配布、市の広報紙等を活用したものの、前年度に比べて新規入会者は5名の減、退会者に於いては27人の増となり目標に届かなかった。

就業形態別での実績は、労働者派遣事業は企業が5件増え手数料収入の増となったが、受託事業及び職業紹介事業では昨年度を下回り前年度より減となった。

また、「安全就業」を第一に掲げ、会員・役職員一丸となって取組んできたが、傷害事故は無かったものの、残念ながら熱中症が3件、車両による物損事故が4件、その他の物損事故が1件発生してしまった。

## 第1 会員、補助金の状況

### 1、会員の状況

	今年度末会員数	入会会員数	退会会員数	前年度末会員数	増減
男	243	25	49	267	△24
女	68	6	5	67	1
計	311	31	54	334	△23

### 2、補助金の状況

- (1) 厚生労働大臣より事業実施のために、高年齢者就業機会確保事業費等補助金として14,760,000円の補助
- (2) 釜石市長より事業実施のために、運営費補助金として14,760,000円の補助

## 第2 事業報告

### 1、雇用によらない就業機会の提供について

#### (1) 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した次のような就業機会の提供を行った。

①技能・技術作業(大工、襖・障子、網戸、畳、剪定等)

②事務整理作業(毛筆筆耕、宛名書き、賞状等)

③管理監視作業(施設等管理)

④一般内外作業(草刈、草取り、清掃等)

⑤家事援助作業(通院介助、家事全般)

(2) 独自事業

高齢者の就業機会を広げるため、また、地域社会に貢献し、就業を通じて社会に参加することを高齢者が独自の創意工夫により創出する事業として次のような事業を行なった。

①廃材の利活用によるチップや薪の提供

②花や野菜の栽培販売

5年度実績

	今年度末実績	前年度末実績	増減
受託件数 (件)	1,093	1,159	△66
就業延べ人員(人日)	10,210	10,811	△601
就業率 (%)	74.3	72.2	2.1
公共事業 (円)	17,238,383	16,941,924	296,459
企業関係 (円)	24,566,401	24,572,387	△5,986
一般家庭 (円)	17,243,097	19,660,718	△2,417,621
独自事業 (円)	79,700	53,020	26,680
収入計 (円)	59,127,581	61,228,049	△2,100,468

2、雇用による就業機会の提供

(1) 職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象に、職業紹介による就業機会を提供した。

	今年度末実績	前年度末実績	増減
求人件数 (件)	16	22	△6
就業延べ人員(人日)	4,418	4,906	△488
手数料収入 (円)	3,431,608	3,896,686	△465,078

(2) 労働者派遣事業

労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として、派遣登録会員を対象に労働者派遣による就業機会を提供した。

	今年度末実績	前年度末実績	増減
契約件数 (件)	53	49	4
就業会員数 (人)	58	44	14
就業延べ人員(人日)	3,728	2,721	1,007
手数料収入 (円)	1,507,616	1,394,958	112,658

### 3、就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

#### (1) 講習・研修事業

就業上必要な技能、知識を付与することにより、就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、活力ある地域社会づくりに寄与するため、一般高齢者及び会員を対象に刈払機取扱作業安全衛生教育を実施した。派遣会員に対しては、教育訓練の一環として釜石市の商工業について講習会を実施した。

## 第3 事業推進のための活動

### 1、事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

高齢者の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域づくりに寄与するため、また、上記第2の事業及び社会参加活動を推進するための活動として以下のとおり実施した。

#### (1) 普及啓発事業

シルバー事業への理解と高齢者の加入促進及び意識啓発を目的とし、次の事項を実施した。

- ①普及啓発促進月間活動（役員、班長、職員にてチラシ配布実施、奉仕活動悪天候中止）
- ②マスメディアへの情報提供
- ③会員仕事募集チラシ
- ④行政機関広報への記事掲載。市役所電光掲示板へ広告掲載（年間）
- ⑤会員確保増強のための年賀はがき配布（市内地域指定配布）
- ⑥ホームページの活用

#### (2) 安全・適正就業の推進

会員が自らの健康維持と安全の確保を図りながら、提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を実施した。

- ①安全適正就業委員会の開催並びに安全パトロールの実施
- ②安全・適正研修会への参加
- ③安全大会の開催、交通安全講習会の開催
- ④草刈り・剪定班会議の開催
- ⑤事務局だより、安全就業・交通安全の手引き、SMSを活用した会員への啓発

#### (3) 調査研究

高齢者の就業分野を支える有用な社会システムとしての機能を果たすためには、社会経済環境の変化、高齢者の就業に対する意識の変化に対応した事業の展開が求められることから、次の調査を実施し事業の策定に活用する。

- ①会員の就業に関する意識調査
- ②発注者満足度アンケート
- ③各種講習会参加者アンケート

(4) 就業分野の開拓・拡大

会員にふさわしい仕事を受注することで、会員の確保とともにセンターの事業発展・拡大につながることから、地域に密着した就業開拓を行った。

- ① 役職員による釜石市長へ要請訪問
- ② 自治体や民間事業所への訪問

(5) 相談・情報提供

入会希望の高齢者を対象に入会説明会等を実施し、ハローワーク、連合会と連携し、雇用就業等に係る相談及び情報提供を実施した。

- ① 入会説明会随時開催
- ② 雇用・就業相談会

(6) 社会参加活動の推進

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るために、一般の高齢者を交えた健康体操教室やウォーキング教室など会員同士の交流を深め多様な社会参加を通じ、共助の精神や自主的活動に対する意識を高める機会を一般高齢者や会員へ提供した。

- ① 普及啓発会報委員会による野菜贈呈訪問(老健施設 3 か所)
- ② 女性のための健康体操教室の開催 (釜石市民体育館)
- ③ ウォーキング教室の開催 (海岸線を往復 5 km コース)
- ④ 釜石市の「地域における見守りの取り組み」への協力
- ⑤ 釜石市社会福祉協議会主催「ふれあい福祉まつり」への協力